

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	第 24 回入間市地域公共交通協議会
開 催 日 時	令和 6 年 5 月 22 日 (水) 10 時 30 分～11 時 30 分
開 催 場 所	入間市役所 C 棟 5 階 501 会議室
議 長 氏 名	埼玉大学大学院理工学研究科環境科学・社会基盤部門 教授 久保田 尚
出席委員(者)氏名	岩澤委員、秦野委員、霜村委員、関根(修)委員、関根(肇)委員、 高木委員、本住委員、村上委員、原島委員、平沼委員、梶山委員、久 保田委員、小嶋委員、飯島委員、西澤委員、塚原委員、双木委員、齋 藤委員、茂木委員、浅見委員、岸委員、高野委員、須田委員
欠席委員(者)氏名	松原委員、藤田委員、轟委員、須永委員、小河委員、伊東委員
説明者の職氏名	入間市都市整備部都市計画課 主幹 原島 隆浩 // 主任 遠山 優(司会)
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	【公開】 別紙 1 のとおり
非 公 開 理 由	—
傍 聴 者 数	1 名
配 布 資 料	・次第 ・資料 1 入間市地域公共交通協議会について ・資料 2 ていーワゴン(宮寺・二本木・武蔵藤沢駅コース)の利用実態調査 について(議決事項) ・資料 3 公共交通に関する要望の内容について(報告事項) ・入間市公共交通マップ ・ていーろーど、ていーワゴン時刻表 ・入間市地域公共交通協議会委員名簿
事務局職員職氏名	入間市 都市整備部 部長 吉野敬司 // 次長 星 康貴 // 都市計画課 課長 片岡成浩 // // 主幹 原島隆浩 // // 主任 遠山 優 // // 主事補 鈴木 等
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1. 開会

2. 委嘱状の交付

3. 市長あいさつ

4. 委員紹介

5. 職員紹介

6. 入間市地域公共交通協議会について

7. 会長・副会長の選任

久保田委員、小嶋委員がそれぞれ会長、副会長に選任された。

8. 議題

・協議会の会議録に署名する委員については、西澤委員が指名された。

(1) ていーワゴン（宮寺・二本木・武蔵藤沢駅コース）の利用実態調査について（議決事項）

・ていーワゴン（宮寺・二本木・武蔵藤沢駅コース）の利用実態調査については了承された。

(2) 公共交通に関する要望の内容について（報告事項）

9. その他

・事務局より次の事項を説明

1. 委員報酬について

2. 次回の協議会の日程について

10. 閉会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
1. 開会	
2. 委嘱状交付	
3. 市長あいさつ	
4. 委員紹介	
(自己紹介)	
5. 職員紹介	
6. 入間市地域公共交通協議会について	
事務局	入間市地域公共交通協議会について説明（資料１） （質問、意見等無し）
7. 会長・副会長の選任	
市長	会長、副会長の選任については、入間市地域公共交通協議会条例第５条第１項の規定により、委員の互選により定めることとなっている。意見等はあるか。
双木委員	引き続き、会長は久保田委員、副会長は小嶋委員にお願いしたいと思うが、いかがか。
一同	異議なし
市長	久保田委員、小嶋委員、いかがか。
久保田・小嶋委員	了承した。
市長	それでは、会長は久保田委員、副会長は小嶋委員を選任するということでしょうか。
一同	異議なし
市長	異議なしと認め、会長には久保田会長、副会長には小嶋委員と決定する。
8. 議題	
事務局	(1)ていーワゴン（宮寺・二本木・武蔵藤沢駅コース）の利用実態調査について説明（資料２）

発 言 者	発 言 内 容
本住委員	調査員がバスに乗って調査を行うということで、この調査はあくまでも利用している方のみに行うということによろしいか。どのくらいサンプルを集める考えなのか、教えてもらいたい。
事務局	乗車している方への調査となる。宮寺・二本木・武蔵藤沢駅コースの1日平均乗車人数は約26人となっている。データ数は26人×4日と想定する。
本住委員	普段ていワゴンを利用していない方の人数が多いと思ったので、利用していない方の意見を拾えると改善につながると思い質問した。
事務局	ていワゴンを利用していない方については、令和4年度の入間市地域公共交通計画の作成時に市民意識調査を行っているので、そのデータを用いながら分析していく。
久保田会長	4回の調査で26人×4日のサンプルが集まるかという点、同じ人が乗っている場合、回答が1人1回だとすると、あまりサンプルが集まらない可能性がある。ご留意いただきたい。
事務局	今回の調査は当該コースの利用状況を把握するための調査である。調査結果の分析に関しては、会長、副会長等の意見も伺いながら進めていきたいと考える。
村上委員	各コースにより運行曜日が異なるが、調査の4日というのは、各コースに対して4日なのか、全コースを4日で行うのか。また、調査員は何名で、どのように分配されるのか。ていワゴンをデマンド交通にするのであれば、その廃止により通勤・通学で利用される方が一番困ると思うので、朝と夕方の時間帯の調査をしっかりと行っていただきたいが、調査員は、各コースに1名ずつ配置されるのか。
事務局	調査員は、それぞれ曜日ごとに、各コースに対して1名または2名が始発から終便まで乗車して調査を行う。デマンド交通の導入に関しても、利用実態調査の結果をもとに分析を行い、今後検討していく。
久保田会長	3コースをそれぞれ4回ずつ行うのか。

発 言 者	発 言 内 容
事務局	その通りである。
岩澤委員	今回の調査対象は、乗客に対してのみであり、当該地域の非利用者の状況は把握できないと思われるが、この調査の目的を改めて伺いたい。
事務局	バス停毎の利用者数等の詳細なデータが無いため、ルートの見直し等の可能性も含めて、今後検討していくためにも利用実態調査を行う。もしルートの見直しとなった場合は、地域の方々の意見を取り入れるために、協議会とは別に、地域の方々への説明会等も適宜行っていく。
岩澤委員	今回の利用実態調査の対象が乗客のみに対してであることの意図は、まだその部分が把握しきれていないからということで良いか。将来を見据えた検討をされるという認識で良いか。
事務局	詳細な利用実態を把握していないことから、ルート及びダイヤの見直し等の検討を進めていくために調査を行う。
岩澤委員	質問の趣旨としては、今回の調査の目的が、現在のルートや、バス停の必要性の有無等の判断のために構成されていく話なのか、それとも全体的な長い目線で見たときに、将来を見据えてどのような公共交通が必要かを検討するための最初の段階として考えているのかを確認したい。
事務局	利用状況を把握することも目的の一つであるが、デマンド交通の導入の必要性等の検討を含め、将来を見据えた調査でもある。
久保田会長	当時ていワゴンを導入した時は、自治会の方々に尽力いただき地元の意見を吸い上げたが、それはこの調査の後ということによろしいか。
事務局	まずは調査を行い、現状を把握したいと考えている。その後ルート等の見直しとなった場合は、地域の方々の意見を伺いながら見直しを行っていきたいと考える。
久保田会長	その他、ご意見のある方はいないか。調査票については事務局が作成次第、郵送等で配布するため、改めて意見をいただきたい。他にご意見がなければ、今年度の取り組みとして、資料のとおり、ていワゴンの利用実態調査を行うことについて、この協議をして了承することによろしいか。

発 言 者	発 言 内 容
一同	異議なし
事務局	(2) 公共交通に関する要望の内容について説明(資料3)
村上委員	農協より、毎日どれくらいの乗降客数が見込めるのか聞いているのか。その要望を汲むためにはどれくらいの数が必要で、どのくらいの数を下回ると路線をなくすという説明の仕方をしないと、一度要望を受けて新しく路線を新設すると、無くすのは難しいと思うが、いかがか。
事務局	現在、いるところ直売所の利用客数等の情報は得られていない。今回の利用実態調査で武蔵藤沢駅コースを調査するので、利用客数の把握ができると考えている。また、今後、農協からも利用客数等の情報は収集していきたいと考えている。
9. その他	
事務局	・ 委員報酬について説明 ・ 次回の協議会の日程について説明
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
2024 年 6 月 10 日	
議 長 の 署 名	久保田 尚
議長が指名した者の署名	西澤 泰典

第24回 入間市地域公共交通協議会

日時：令和6年5月22日(水)午前10時30分～

場所：入間市役所C棟5階 501会議室

－ 次 第 －

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 市長あいさつ

4 委員紹介

5 職員紹介

6 入間市地域公共交通協議会について 資料1

7 会長・副会長の選任

8 議 題

(1)ていーワゴン(宮寺・二本木・武蔵藤沢駅コース)の利用実態調査について

(議決事項) 資料 2

(2)公共交通に関する要望の内容について (報告事項) 資料3

9 その他

10 閉 会